

別記様式第 2 号

会議の概要報告

会議の名称	佐野市保育所整備運営計画策定委員会
1 開催日時	平成 22 年 2 月 10 日（水）17 時 30 分～19 時 00 分
2 開催場所	佐野市役所本庁舎第 2 会議室
3 委員等の人数	10 人
4 出席委員等の人数	8 人
5 議題	1. 佐野市保育所整備運営計画基本方針について 2. 基本方針等に対する意見・提言等について 3. 平成 22 年度の計画検討スケジュールについて ①策定委員会のスケジュール ②今後の協議の進め方について
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	6 人
8 会議資料の名称	・佐野市保育所整備運営計画基本方針 ・保育所整備運営計画策定・実施計画検討スケジュール
9 会議の概要 (発言の要旨)	別紙のとおり
10 その他	

第3回佐野市保育所整備運営計画策定委員会会議録（要旨）

日時 平成22年2月10日（水）

午後5時30分～午後7時

場所 本庁舎第2会議室A B

出席委員（敬称略）

藤原委員長、小林副委員長、長濱委員、奥村委員、長谷川員委員、三浦委員
中山委員、大川委員

開会

1 第1、2回委員会の議事録確認

2 議事

（1）佐野市保育所整備運営計画基本方針について

（委員長）

（1）佐野市保育所整備運営計画基本方針について説明を求める。

（事務局）

（1）佐野市保育所整備運営計画基本方針について説明

（委員）

子どもにとって延長保育は良いのか疑問がある。

親にとっては良いが、子どもにとって本当によいのか

保育ニーズとは具体的に何があるのか

（事務局）

今まで実施したアンケート調査によると、病児・病後児保育、休日保育、延長保育、その他に施設の改修等に多くありました。

（委員）

朝7時から夜7時まで預かっている。

保護者の形態が多様化している。

子どもの発達保障と就労支援と両方の面から支えなければならない。

夕方は小さな部屋で家庭的雰囲気をはかっている。

4月から一時預かり事業が法制化、希望者が年々増えている。

特定保育事業にも取り組んでいる。両方とも本来入園すべき子どもであるので、待機児童としてカウントしても良いのではないかと思っている。

(委員)

ことばじりになるが、社会に進出する女性がますます増える...この文章は女性の立場からするとうまくない表現になっている。女性だけをとらえてしまうのはどうか。一人親家庭も増えている。

信頼ある保育の実践と・・・これは上から目線になっている。

子どもと過ごすのは、時間ではなく中身ではないか、迎えに来た時のスキンシップで、一日離れていたこともカバーできる保育園、幼稚園に感謝する。

(事務局)

指摘されたところについては表現を改めます。

(委員)

今、幼稚園は預かり保育を8時から6時までやっている。

子育て支援であるが家できちんと見る人がいない。「子どもの育ちを教えている」という意味もある。

家に帰っても誰もいない。だったら預かり保育を受けさせたいというニーズもある。

労働のみならず意味があるのではないか。

厚生労働省となって労働対策が強くなった。

こどもにとってのサービスの視点も必要、当然大人にとってもサービス
次世代育成行動計画として枠組みに、こどもの視点を入れるべき。

(委員)

家庭の規模が小さくなってきた。

0,1,2歳でも、保育に欠ける、欠けないに問わず小さな集団は必要である。
家でも子どもと親が遊ばず、子ども集団がない。親が親として子育てできない。
3~5歳でも家にいる親がいないため、ゲームを一人で行っているよりは夕方までは、こども集団にいた方がよい

親が見るのが本来です。学ぶチャンスを失っている。

学ぶための包括的施設であって、親の子育てが地域づくり、まちづくりに、その拠点となるのが保育園、幼稚園である。

(委員長)

いままでいわれていることが、大体のことです

(委員)

就労支援だけではないと市が考えていくことが基本的に大事である
色々な特性を活かす。預かり保育、認定こども園等を活かしながらニーズに応える。

(委員長)

官民も明治時代的である。女性の社会進出は一般的になっている。
全体的に上から目線の表現になっている。進出する表現も変。
適切な表現に変える。

(委員)

官民連携したガイドライン...はっきり書いた方が良い。明記してもらいたい。

(委員)

保育の質とは何を求めているのかわからない。

預ける方は7時から8時

逆に預かる側の先生のケアも重要である。保育士も人です。

小学校にさわやか指導員がいるように保育士のケアを考えるべき、例えば指導係を配置するとか。

研修会も必要、幼稚園の先生が保育園へ行くとか人事交流も必要である。

(委員)

環境、自然環境、人の環境が必要。特に乳児保育は難しい。

(委員)

環境の質、先生の質、熟練した先生が必要。安全・安心に乳児を預けられる。

(委員)

病児・病後児の専門の保育所が佐野に必要ではないか。

1か所でも良いので、できれば3か所。

看護師で60歳を超えてもバリバリ働いている。パートで雇ったらどうか。

(委員)

センター的な保育園に病児保育を実施することを整備計画に入れた方が良い。

くずう保育園くらいの広さがあれば可能である。いろいろな保育ができる。

(委員長)

(2) 基本方針等に対する意見・提言等について説明を求める。

(事務局)

(2) 基本方針等に対する意見・提言等について説明

(委員長)

(3) 平成22年度の計画スケジュールについて説明を求める。

(事務局)

(3) 平成22年度の計画スケジュールについて説明

(委員)

基本方針なので、数値的な目標はないのか。来年度はつきり示すのか。

22年度の申込みと入れない児童は。

(事務局)

最終的にはまだ出ていないが、0歳児で100名多い。1次157名の申込み。

(委員)

ワークショップは開催されたのか。現場の声が知りたい。

(事務局)

公立の3分の2ぐらいはおこなった。

計画の説明が主であり、現場で大変な思いをしていることを把握できた。

(委員)

新規の保育所、実績のある社会福祉法人にやってもらいたいが。株式会社等の記載がなくなっている。

(委員長)

委員会としては、これで良いのか。前回の資料も含めでご意見をいただきたい。

(委員)

新たな施策的なものについて、金額的にはいつわかるのか。

財政担当と協議、金額的な裏付けがなければ絵に描いたもちに終わる。

その辺のところが見たい。遊具が欲しくても高価で買えない。

(事務局)

平成22年度に事業費を決めたい。

(委員)

建設にあたっては、デンマーク材のようなものはいらぬ

もっとシビアに検討すべき、何坪で坪単価がいくらか

建設費用も低く抑えられる

(委員)

今日の開催は5時30分だが欠席者いる。

子育ての為にこういう保育園を作ってもらいたい。との利用者の意見が聞けない。

保護者の意見が反映されない。

委員を増やすことも検討すべき。

(委員)

我々も暇ではない。出席できないなら意見を出してほしい。

(委員)

平成22年度にパブコメをやるのか。

一度過程の中で意見を、生の声を聞くことも考えるべき。

佐野市としての姿勢を見せることも必要。

(委員長)

地域住民説明会も考えているようです。

(委員)

決まってから意見を聞くのではなく、事前に聞ける企画を、お母さんたちはいい意見を持っている。

(委員)

保育所ごとにワークショップを実施すればパブコメに繋がる

(委員)

パブコメを知っている人は少ない。

知っていても面倒くさいという人が多い。

意見を出しても変わらないという人も多い。

幼稚園は保護者の意見をまとめる場がある。

保育園の話をする場を作る必要がある。

無記名で封筒に入れるなどをして求める方法をとるべき。

(委員)

意見を吸い上げられるようなことを考えるべきである。

(事務局)

情報を提供して意見を吸い上げたい

(委員長)

3 その他(1) 市長への報告について説明を求める。

(事務局)

3 その他(1) 市長への報告について説明

(事務局)

今年度は今回が最後で、来年度は策定委員の人選を早急に行い、次回の会議は5月、7月、11月の3回程度を予定している。

7時00分終了